

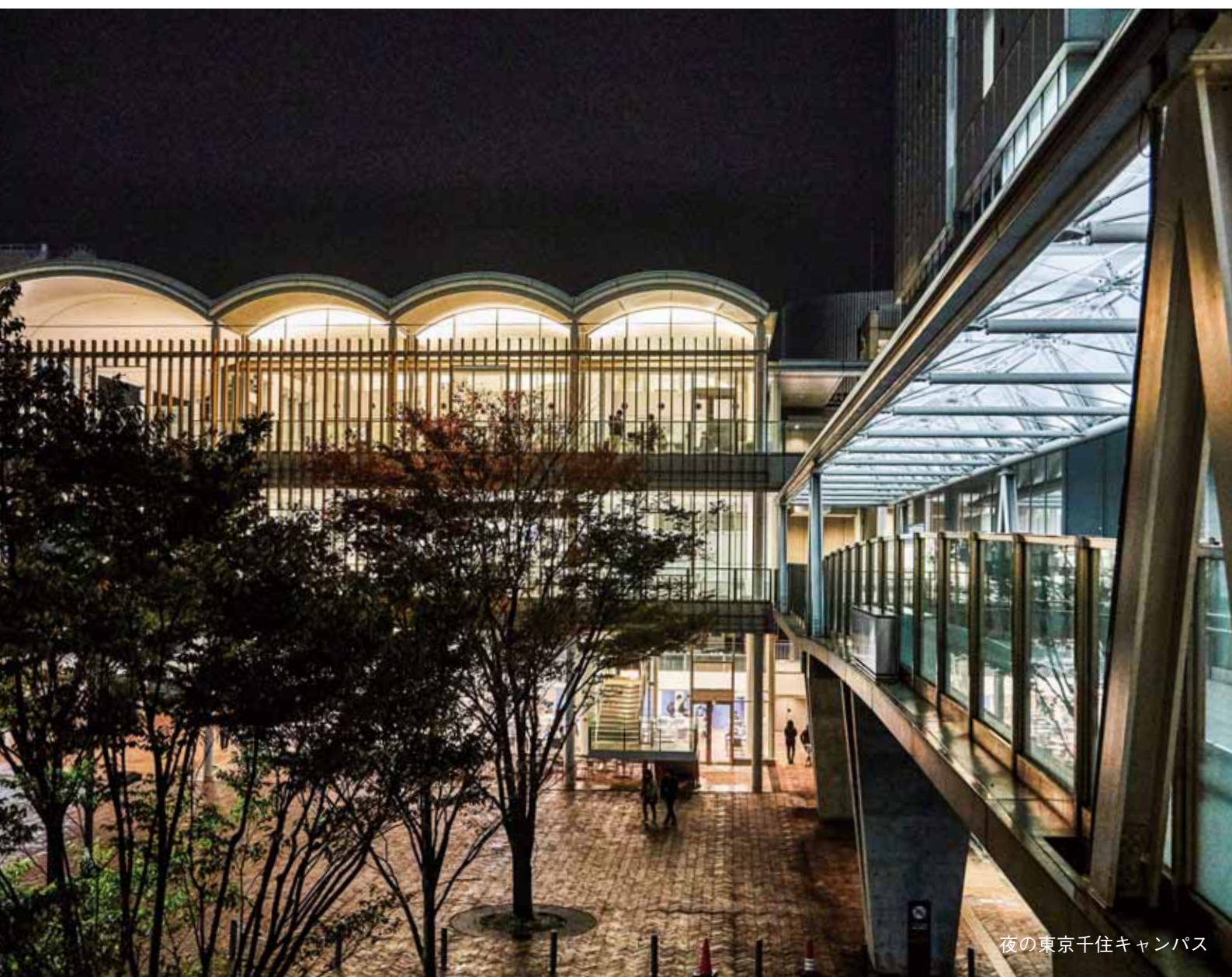
# TDU *Agora*

特集

はたらく学生 ..... 1

## CONTENTS

働く電大人 立花嘉一さん ..... 3 (令和3年3月 工学部第二部 電気電子工学科卒業)	News ..... 5
キャンパスよもやま情報 ..... 4	Information ..... 7



本学では現在、50名を超える「学生職員」が、大学で働きながら卒業を目指し、勉強を続けています。学生職員の職場や仕事内容は、実験室・実習室での業務、大学内の事務サポートや地域連携に至るまで、多岐に渡っています。

また、2018年度から工学部第二部で募集を開始した、総合型選抜「はたらく学生入試」は、2022年8月に、文部科学省が大学入学者選抜における好事例を選定した好事例集にも取り上げられるなど、高い評価を受けています。

### 学生職員数

( )内ははたらく学生入試で入学した学生

2018年	16名(2名)
2019年	19名(3名)
2020年	19名(5名)
2021年	16名(4名)
2022年	18名(5名)

### はたらく学生入試概要

- 対象学部 工学部第二部
  - 募集人員 若干名(学部全体の募集人員は180人)
- 入学後、昼間は本学「学生職員」として働きながら、夜間は工学部第二部(夜間部)で学ぶことができ、入学検定料は免除されます。



工学部第二部長  
吉田 俊哉 教授

### 工学部第二部長からのメッセージ

「はたらく学生」入試は、大学で学びたいという強い思いがあるにもかかわらず経済的な事情等で断念せざるを得ない方を何とかサポートできないかという思いから立案されました。

この入試制度の実施以前から本学には「学生職員」という制度があり、学生として学びながら本学の職員として働ける仕組みがありました。しかしこの制度が広く周知されていたわけではなく、かつ、その職への応募や採用が入学後に行われるため、経済的な事情で学びを断念していた方の後押しにはなっていませんでした。

この入試制度では、入学資格を得る(合格)と同時に就職が約束されるため、このような方を後押しできると考えています。

昼間は大学で働きながら夜は大学で学ぶ工学部第二部の学生や、昼間は工学部で学びながら、夜は工学部第二部の実験室で働く学生など、その働き方は様々です。

今回は、実際に大学で働いているはたらく学生の皆さんにお話を聞きました。



工学部第二部 機械工学科 4年  
(はたらく学生入試で入学)  
機械工学科実験管理室 学生職員  
普久原 勝既さん

#### — はたらく学生になったきっかけ

将来ものづくりに携わりたいという思いから、大学は「工学部であること」、かつ、一人暮らしのできる「東京エリアであること」、この2つの軸で決めようと考えていました。しかし、私は兄弟が5人と多く、経済的に厳しいという現実がありました。そこで、どうか条件に合うところはないかと調べていくなかで、本学の学生職員制度を知りました。これなら大学へ通えるかもしれないと考え、はたらく学生入試に挑戦しました。

#### — 学業と仕事の両立について

学生職員として生活するにあたって、一番大切なのは学業と仕事の両立です。私は学業と仕事を両立するために、「体調管理」、「時間の使い方の工夫」、「すぐ行動」の3つを心掛けています。具体的には、早寝早起きなどを徹底して健康を意識し、大学の近くに住み、通勤・通学への負担を減らしています。また、簡単な仕事のタスクや、授業の課題などはすぐに取り掛かり溜め込まないようにしています。働きながら学ぶことは、とても大変だというイメージを持っている方もいると思いますが、工夫しながら慣れていくと、充実した生活が送れますよ。



工学部 先端機械工学科 4年  
電気電子工学基礎実験室 学生職員  
田浦 りこさん

#### — はたらく学生になって良かったこと

職場が大学のため、時間を効率よく使え、移動で疲れるということもありません。

そして何よりも、他学科の学生や副手の大学院生、先生方とお話する機会があり、人との交流が増えました。

学校に自分の居場所があるかないかでは心の持ちようが全然違います。そんな安心感を得られたことも、大学生生活を送る上で良かったことの一つです。



工学部第二部 情報通信工学科  
2022年3月卒業  
研究推進社会連携センター  
(地域連携担当) 補助職員  
中村 郁生さん

#### — 仕事内容について

週2回、9時から17時まで勤務していました。イベントを行う日は土曜日も出勤することがありました。仕事内容は、部署HPの改善、小・中学生に向けたイベントの企画、準備などに携わりました。学外の方と係る仕事であったため、「周囲から見られている」という意識を常に持って、節度ある落ち着いた行動を心がけました。また、学生ならではの視点で企画の提案ができるよう、新しい技術(Chat GPTなど)を意識し、友人たちの進路や研究室で何をしているのかなど、積極的に情報を集めるようにしていました。



工学部 情報通信工学科 3年  
情報通信工学科実験室 学生職員  
高橋 舞桜さん

#### — はたらく学生になったきっかけ

学業と仕事の両立ができるアルバイトを探している時に、大学のガイダンスで「学生職員」の募集を知ったことがきっかけでした。私は人になにかを教えることが好きで、実験中の学生のサポートができるという点に惹かれました。また、勤務内容に、実験機材のメンテナンスがあったため、授業だけでは学べない知識を学べるのではないかと考えたことも、動機の一つです。

#### — はたらく学生になって良かったこと

はたらく学生になって良かったことは、働きながら身に付けた知識が、学業でも活かせることです。仕事で必要なシステムを開発したり、実験機器の修理をしているうちに、プログラミングや電子工作の技術も身に付きました。

私はもともと人見知りで、人と話すことがそこまで得意ではなかったのですが、はたらく学生の仕事で先生方や学生と話す機会が多くあり、周りの人とコミュニケーションをとることが苦ではなくなりました。

# 働きながら学ぶ経験を通して ～はたらく学生入試で入学～



一般財団法人関東電気保安協会  
**立花 嘉一さん**  
工学部第二部 電気電子工学科  
令和3年3月卒業

経済的な面で大学選択を悩んでいたところ、高校の先生から本学の「はたらく学生入試」を勧められ受験を決めました。昼間の学部よりも費用が抑えられ、入学後も安定して収入が確保できるところに魅力を感じました。

工学部第二部は、社会人など年齢や経験等が異なる学生が多く在籍し、そういった方々との交流も魅力の一つです。学業面でも昼間の学部に比べて学生数が少ないため、先生方の丁寧な指導を受けることが可能です。一方で、学生職員は昼間に働き、夕方から夜にかけて講義を受けます。高校生の頃と比べ自由な時間はかなり少なくなり、生活リズムが安定するまでは大変でした。

私が学生職員として所属していた情報メディア学科演習準備室は、約100台のパソコンの管理や授業の準備、片付けが主な仕事です。最初は分からないことばかりでしたが、先輩方に教えてもらいながら少しずつ覚えていきました。また、春休みや夏休みの間に行うパソコン約100台の更新作業や、オープンキャンパス等のイベントでの業務もあります。



オープンキャンパスの様子

私の学生としての所属は電気電子工学科でしたが、学生職員の仕事を通して学科では学ぶことができない分野について知ることができ、良い経験になりました。また、学業と仕事の両立で計画的に物事に取

り組む習慣ができました。その他にも、新入生歓迎会やオープンキャンパス等のイベントを通して、言葉遣いや対応を学ぶことができました。社会に出てから必要なことを学生の間身につけることができ、成長できたことは学生職員になって良かったと感じています。

卒業後は、一般財団法人関東電気保安協会です。電気設備の点検が主な仕事内容で、測定器を用いて電気設備の異常を確認します。測定器の中には高圧の電気を使用して測定するものあり、複数人での連携が取れないと感電などの重大な事故に繋がる可能性があります。そのため、何の作業を行うのか周りに伝えながら点検を進めていくことを意識しています。また、測定器が正しく測定できているか確認するために、計器校正をする等の測定器の管理も行なっています。



地絡方向継電器試験

電気設備点検の仕事は、働きながら電気主任技術者の資格取得や、電気設備や法律の勉強が必要です。ここでも工学部第二部で身につけた、働きながら勉強をする習慣が役立っています。その他にも、書類作成等の内勤業務で複数の仕事を受けた際に、仕事の優先順位や取り掛かる時間等を考えて計画的に進めることができるのは、仕事と学業の両立をした経験が活きていると感じています。

現在は現場作業が主であり、お客様と直接関わることがほとんどありません。しかし、経験を積んでお客様と直接やり取りをするようになった際に、電気設備についてわかりやすく説明をすることや、電気事故が起きた時にスムーズに対応ができることを目標に仕事に取り組んでいます。そのためには、大学で学んだ電気の知識や現在の仕事の経験が重要になってきます。これからも大学生の時と同じように働きながら勉強を続けていきたいと思っています。

東京千住キャンパス

## 屋上緑化



都市部の気温が上がる「ヒートアイランド現象」や、地球温暖化の原因となる「二酸化炭素の増加」。屋上緑化は、これらを改善へとつなげる働きをもつといわれます。また、屋上緑化で植物を植えると屋上だけでなく建物内の温度も下がるため、省エネルギーの効果も見逃せません。

千住キャンパスの1号館6階のルーフガーデンは屋上庭園としてテーブルやベンチがおかれ、学内専用の休息スペースとなっています。東京スカイツリーを遠望でき、気分転換にも最適です。4月末には植栽のツツジが満開となりました。（管財部 内藤）

埼玉鳩山キャンパス

## 新入生ガイダンス



4月3日から4月10日にかけて、新入生オリエンテーションが行われました。ガイダンスでは先生方からのご挨拶や授業の履修方法等についての説明があり、新入生は真剣な眼差しで聞いていました。

ガイダンス終了後には部活やサークルの活発な勧誘が見られました。広大な埼玉鳩山キャンパスでは学問だけでなく課外活動も非常に盛んです。

理工学部事務部では、学生の皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう全力でサポートしていきます。

（理工学部事務部 野中）

## 東京小金井キャンパス 高等学校スタートセミナー

コロナ禍により中止を余儀なくされていた、高等学校スタートセミナー（1年生宿泊行事）を、4月26日～28日に群馬県みなかみ町他で実施しました。卒業生講話、ポスタープレゼンテーション、フォトロゲイニング、富岡製糸場見学など、短期間ながら盛りだくさんのプログラムでした。

卒業生、友人との対話を通じて「自分との対話」をおこない、「高校生としての自立」への第一歩を踏み出す機会となりました。（進路指導部長 今井）



## 校友会だより



### 東京電機大学同窓会 公開講演会

4月22日に元バレーボール日本代表の川合俊一氏をお招きし、「一流選手が生まれる条件～運気を上げる考え方～」という演題でご講演いただきました。

川合氏の幼少期から現役時代、現在に至るまでの経験や川合氏ともに切磋琢磨したバレーボール選手の姿を踏まえた上で、一流選手になるため、また人生において役に立つ考え方について、プロ選手として活躍した川合氏ならではの体験を、ユーモアを交えわかりやすくお話いただき貴重な時間となりました。



## 医薬品調製装置トライアウト連携機関合同実験

3月21日に京都薬科大学にて、本学と一関工業高等専門学校が開発している医薬品調製装置の進捗報告会と実証実験を実施しました。本学からは工学部電子システム工学科の茂木克雄教授と学部3年の嶋田玲皇さんが参加しました。放射性核種を用いた診断技術は、がんなどの致死的な疾患をつぶさに診断できる唯一の技術ですが、そこで利用される放射性医薬品は大量一括で調整しなければならず、個々の患者のニーズに対応させることが困難でした。今回実証実験を行ったのは、この放射性医薬品を多品種少量で調整できる装置です。創薬現場の技術課題と照らし合わせて、開発装置の改良点や課題について学生同士の活発な議論が行われました。



## 研究推進社会連携センター

### CRCフォーラム「ビジョン技術“見る・観る・視る”～凍結道路は認識できるか～」

3月28日に千住キャンパスにて、CRCフォーラム「ビジョン技術“見る・観る・視る”～凍結道路は認識できるか～」を学内限定で開催しました。未来科学部の中村明生教授から「偏光画像処理に基づく路面性状認識」、総合研究所の小林亘教授から「道路における識別が可能なカメラ撮影」、システムデザイン工学部の小篠裕子准教授から「ハイパースペクトルカメラによる可能性の追求」の発表がありました。

ビジョン技術の進化で路面性状が的確に認識できるようになれば、高精度な交通情報の提供が可能になります。当日は、研究室の学生も参加交流し、有意義なフォーラムとなりました。



## 国際センター

### 留学生対象オリエンテーション

国際センターでは、3月30日に埼玉鳩山キャンパス、31日には東京千住キャンパスにて、留学生対象のオリエンテーションを実施しました。鳩山では理工学部の学生43名、千住では3学部106名の留学生が参加しました。

学生は午前中に日本語能力測定試験を受験、午後には学術振興基金（留学生特別奨学金）受賞者の表彰が行われ、留学生アドバイザーとの懇談、履修や学生生活における諸注意などが伝えられたほか、西入間警察・千住警察の方からそれぞれ、交通安全や犯罪に巻き込まれないよう日本で安全に暮らすための注意に関するお話がありました。本学での有意義な留学生活に役立てていただければと思います。



## ピックアップ! 出版局



★出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載!

2023年4月の新刊は2点となります。



## よくわかるワイヤレス通信 第2版

田中博・川喜田佑介 著 A5判・224頁 定価2,970円

ワイヤレス通信技術の教科書の改訂版。無線LANシステムのWiFi、モノとインターネットを融合した技術であるIoT、次世代通信システムの5Gなどの最新技術を解説。



## ICT・IoTのためのアンテナ工学 改訂版

川上春夫 著 A5判・212頁 定価4,180円

アンテナ技術の各種解析法を網羅的に解説した書の改訂版。最新技術の応用例として、放送技術や衛星技術を紹介し、とくに宇宙天気予報に関する応用例について概説。

## &lt;ピックアップ! 重版本&gt;

高校から大学、技術者のための教科書や高度専門書、電子工作、自学自習書、読み物など、利用者の要望に応えるために重版を決定した書籍をご紹介します。



## フレッシュマンセミナーテキスト 第2版

初年次教育テキスト編集委員会 編 B5判・184頁 定価2,310円

内容を充実させて改訂。新入生が有意義な大学生活を送るために、生活と学習両面からのステップアップを図るためのテキスト。



## 技術は人なり。—丹羽保次郎の技術論

東京電機大学 編 四六判・168頁 定価2,200円

本書では、先生の功績であるファクシミリ開発についての紹介から、若い技術者へのメッセージ、先生の人物像について掲載。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、下記URLよりご登録ください!

<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>



今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

若鮎や急流に射す陽の光  
種袋家庭菜園余りおる  
入園児今年は微増青い空

英次(武田英次)  
知多(絹川博之)  
廻子(大園成夫)

## 偉人の履歴書 vol.8



天文学に大きな足跡を残した近代科学の父

## ガリレオ・ガリレイ

Galileo Galilei

●1564-1642

「人間のどんな議論も

明白な経験に

もとづかなければならない」

- 1564年 イタリアのピサに生まれる。
- 1581年 ピサ大学に進学。数学や物理に興味を持つようになる。
- 1583年 「振り子の等時性」を発見する。
- 1585年 ピサ大学を退学する。
- 1589年 25歳の頃、ピサ大学の数学講師となる。
- 1592年 パドヴァ大学数学教授となる。
- 1609年 ガリレオ式望遠鏡を作る。
- 1610年 木星の衛星を発見し、地動説に確信を持つ。
- 1632年 『天文対話』を出版する。
- 1633年 ローマ異端審問所で裁判を受ける。
- 1642年 逝去。

東京電機大学編「偉人たちの挑戦1」  
東京電機大学出版局、  
2022年、p109. イラスト:宮島幸次

# Information

## OPEN CAMPUS 2023

事前登録制

### オープンキャンパス日程決定！！

2023年度オープンキャンパスの日程が決定しました。  
事前登録制となります。ご来場をお待ちしています！

#### 東京千住キャンパス

システムデザイン工学部 未来科学部 工学部 工学部第二部

6/11<sub>日</sub> 7/29<sub>土</sub> 7/30<sub>日</sub>

●開催時間 10:00～16:00

大学入学後の学びや学生生活が分かるように工夫をしています！学科ごとに展示室を設け、普段見ることのできない研究室を公開予定です。ぜひご来場ください！多くの先輩学生や教授が皆さんの質問や疑問にお答えします！

東京千住キャンパスは北千住駅から徒歩1分！

TOKYO  
SENJU  
CAMPUS



#### 埼玉鳩山キャンパス

理工学部

6/17<sub>土</sub> 6/18<sub>日</sub> 7/22<sub>土</sub> 7/23<sub>日</sub>

●開催時間 10:00～16:00

埼玉鳩山キャンパスにある理工学部は6学系あり、各学系は専門力を身につけるカリキュラムを用意しています。教育・研究内容だけでなく学生生活についても在校生スタッフから聞くことができます。ぜひご来場ください！

埼玉鳩山キャンパスへは車でのご来場も可能です！

SAITAMA  
HATOYAMA  
CAMPUS



詳しい情報はこちらから！



#### 編集後記

今月号は「はたらく学生」について特集しました。本学には昼間部はもちろん、夜間部の社会人課程など様々な学びの形があります。今年度も6月からオープンキャンパスが始まります。ご興味のある方は、ぜひご来場ください。

## TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

https://www.dendai.ac.jp/



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。